



〈第4回〉

●華僑のプライドを持って

はばたく若き舞姫

孫 琴恵〈神戸中華青年会幹事〉

ルポライター

臼杵百合子

孫さんに出逢ったのは昨年の夏のことでした。

ちょっとしたインターナショナルな催しに三人の仲間と一緒に中国民族舞踊を踊ってもらったのです。

初めて逢った頃の彼女は、まだ高校生かなとも思えるような可愛い娘さんでした。

その時の印象深い出来事。それは、可愛い民族衣装のキビキビとした踊りが佳境に入りかけた頃、カミナリと共に雨が降りだしてきたのです。屋外ステージだったので、観客は軒下へと散ります。舞台の彼女達とは見ると、笑みを絶やすことなく、降りしきる雨の中平然と最後まで踊りぬいてくれたのです。

すごい根生の持主達と、心から拍手を送ったものです。こんな思い出のある孫さんとの再会。

久しぶりに逢った彼女は、少し大人びて年頃の女性が持つやわらかなムードを漂わせて現れました。

孫琴恵さん、花も盛りの22才。親和女子大学文学部四回生。この春には卒業で神戸華僑総会に勤めることになっている華僑の三世です。家族は、御両親に第二人。御両親からみれば、一人娘として大事に箱の中にしまっておきたいところでしょうが、中華青年会の活動に、民族舞踊部のリーダーとして、まとめ役に関わり係にと活発に活動している琴恵さんです。

華僑三世ともなると、まったく本国を知らない世代といえますが、彼女は一度中国を訪れました。出発前は、たいした感慨もなかったそうですが、帰国時、上海より中国の地を飛び立った瞬間、「何日君再来」と胸にせまるものがあつたと……。



取材中の筆者(右)と民族衣装を身にまとった孫さん

小、中学は中華同文。高校は神戸高校と、高校生になって初めて日本社会へ入っていった時、自分は他の人達と違うという気持を抱いたそうです。

その頃、民族舞踊を三人の仲間、顧和蓉・徐麗珍・陳日昭さん達と始めたのです。

そして、ポर्टピアの頃から彼女達の民族舞踊は注目を集め、あっちこっちから出演依頼を受けるようになってきたのです。

「私は、踊りをやるようになってからとても変わったと自分でも思います。練習は辛いこともあるし、二十人位の女の子ばかりの集団だから、それなりの気苦労もあるし、でも普通の女の子だったら会えないような人にも会えるし、色んな会にも出られて視野が広がりました。いつも皆など言うんですけど、なによりも踊りがやめられないのは、スポットライトを浴びて踊るあの時、あの喜びがたまらないんですよ」。

又、

「これも私が華僑として生まれたからこそ出来るんですから、華僑に生まれたことを誇りに思っています」



将来の夢を語る孫さん

民族舞踊団の仲間と、楽屋で



とも。

踊ることは、彼女の人間としての幅を拡げ、華僑としてのプライドを高めることにもなっているようです。

お母さんから、

「私達は他の国で御世話になってるんだから、恥にすることや迷惑をかけることをしてはいけませんよ」

と、幼い頃から常々言い聞かされてきたと語る彼女には、日本人社会に片身の狭い思いで生きているといううな、ひ弱な陰はまったく見当りません。

華僑に生まれた立場を土台として、人生も人間も飛躍させていこうとするエネルギーが、気負いのない語り口に感じられるのです。

「どんな国に行っても、どんな境遇になっても、生き抜いていける自信はあります」

と、こともなげにいう彼女。

ここが、日本民族と中国民族の大きな違いと感じます。

管理の行き届いた秩序ある中が居心地のよい日本人。異郷であろうが逆境であろうが、いたる所で自分を生かす道を見つけ出すのが中国の人々。

どこにそのヴァイリティーの根源が……。

柔軟性に秘められた揺るぎなき民族のプライドでしょうか。貪欲なまでの生きることへのパワーなのでしょうか。

「神戸は一生住みたい所です。外国の人達が歩いていても、別にどうってことないこの雰囲気。インターナショナルでエキゾチック。それに溶けこんでいる私達だと思います」。

確かに、彼女達の存在そのものが神戸の一部といっても過言ではないでしょう。

神戸という同じ空の下にともに生きる華僑の人々。民族は違えども空には区別はないものと感じます。

若き華僑の人々。あなた方のその逞しき、日本の若者にも見せてはくれませんか。

そして、中国と日本をつなぐパイプ役として、新しい華僑人の誕生を期待します。



●中国豪華客船

「耀華号」乗船記

紅い国から
トロピカル・クルーズ
処女航海



コロン島沖に停泊する耀華号



▽船長を囲んだ柏木ファミリー

海船港

たそがれの
フィリピン群島



海亀の甲羅。
中身は住民のお腹
の中へ(コロン)



高橋武のニッポン・ハウス(コロン)

海に浮かぶ豪華ホテル、クルーズ船に乗って青い珊瑚礁の島々を巡る——そんな夢のような旅行を体験したファミリーがいる。明石市で歯科医院を営む柏木善平さん(52)一家は昨年末から年始にかけての8日間、「セブ、シコゴン、コロン青い珊瑚礁への船旅」(ヴァリユー・ツアー)に参加、未開のリゾート地をたっぷり満喫したという。しかも、柏木さん達が乗った「耀華号」は、その名の示す通り、中国(中華人民共和国)籍の豪華客船。カメラ・マニアでもある柏木さん自らが写したアルバムをのぞきながら、夫人の順子さん(51)、長女の由紀子さん(19)を交えて、紅い国のトロピカル・クルーズの土産話をうかがった。

柏木 耀華号は一九六七年、中国がフランスに依頼して建造された船です。しばらくは日中友好のための研修船などとして使われていたそうですが、昨年、全面的な改装を終え本格的なクルーズ船として再デビューしたばかり。運航はスウェーデンとアメリカの共同出資会社が担当し、それを日本の旅行会社がチャーターして今回のツアーに仕立て上げたというのが背景です。私も旅行社からのダイレクトメールでその存在を初めて知りましたが、はたして社会主義国の船がどんなものか、とても興味があつたし、費用も手頃(1人25万円)なので乗り込むことにしたというわけです。

由紀子 おとうさんのお目当ては、本場の中国料理だったんじゃないかって(笑)

順子 でも、上の2人の息子(義彦さん26、泰彦さん24)が新潟の大学へ行っただけは、なかなか家族と一緒にいる機会がなかったでしょ。昔は自家用のクルーザーで船旅を楽しんだものだけど。だから、一つのキャンピングでともに生活のできた今回のツアーは、私達一家のコミュニケーション回復には最適だったわ。

柏木 大阪からタイペイ経由のジェットで香港に着いたのがクリスマス前の25日。そのままオーストラリアに停泊中の耀華号へ乗り込みました。

由紀子 初めて見た耀華号のスタイリングの美しさには

感激しちゃった。

柏木 なんて言ってもフランス生まれだからね。内装も純木がふんだんに使われ申し分なかった。翌日の昼過ぎに出航したわけですが、約170人の船客の99%が日本人。どこで臭ぎつけてきたのか、いかにも船キチって顔の連中ばかりだったね。

由紀子 おとうさんだってその一人じゃない。でも出航してからの2日間はよく揺れたわね。



バーでくつろぐファミリー。左端はバーサーのウェイ君

順子 本当、食事も落ちついて出来ないぐらい。

柏木 南シナ海のうねりは有名さ。でも耀華号は一万トクラスだし、自動制御装置のスタビライザー付きだから揺れも少ないだよ。

最初の寄航地、セブ島についたのが29日の早朝。歓迎のため岸壁に整列したフィリピン軍楽隊がやり始めたのが、あの「愛国行進曲」。戦争を知っている

者には、何とも複雑な心境だったな…。

由美子 ふーん。私には全々、分からなかったわ。

柏木 つぎの日はシコゴン。どの島にもアメリカ人の顔は見えず、ヨーロッパ人ばかりだったが、シコゴンの海岸で泳いでる向こうの若い女性はみんなトップレスだった。国民性の違いとはいえ、さすがに面喰ったよ。しかし、望遠レンズを持っていかず惜しいことをした！

順子 まあ、あなたったら！（笑）

由美子 次に行ったコロンも海がきれいだったけれど、一番はシコゴンね。それに、夜、船上から眺める月の色が日本のとはまるで違うの。こう、神秘的なブルーをし

ていて、とてもロマンチックだったわ。

柏木 コロン島の見物は傑作だったね。「コロン・タウン」と一応、町の字はついてるものの、店は5、6軒。あれじゃ、日本の辺鄙な漁村だって大都会だ（笑）

由美子 お店って言っても雑貨屋さんを小さくした程度だし、10分も歩けば家がなくなっちゃうのよ。

柏木 しかも、よほど観光客が珍しいとみえて、大勢の島民が集まって道の両側に並ぶんだ。まるで私達は動物園のオリの中で見物されてるような気分だね（笑）。

今回のツアーは日程、予算、企画そのものも、まず申し分なかったが、いちばん感心したのは船のホスピタリティだね。乗員200人に対して最大乗客177人。クルーも茅秀松キャプテン以下ほとんどが中国人だが、初めてのクルーズにも拘らず、規律正しくサービスも行き届き満点をあげてもいい。

順子 ちよっと部屋を出ていると、もうベットがきちんと直っている。一流ホテル並みのサービスね。

柏木 それ以上さ。耀華号の場合全員が公務員ということもあって、いまや欧米にはなくなってしまうシステムを頑固に守っているって感じだな。いい意味でのプロ意識を持ち、チップをせびることに汲々としているヨーロッパ人みたいな商売っ気がまるでないんだ。あの初々しさがずっと続けばいいが…。

由美子 パーティーはたいしたことはなかったけど、バーサーなんかとの個人的なおしゃべりは楽しかったわ。

一昔前の日本人みたいに礼儀正しく恥しがり屋なの。

順子 ともあれ、家族が一緒になれたのがなによりだね。

柏木 10年ぶりのファミリー旅行だったからな。でも、息子とはりあって飲み過ぎるのは、もうコリゴリだ。息子と言えども男はやっぱりライバル同士さ（笑）

由美子 私もそう。兄貴たちと一緒にいると、どうしてもケンカしちゃうもの。

柏木 たまにはケンカもいいものさ。船でのスキンシップの触れ合いが、家族の和を保つんだからね。

カントリーの香りを四月の花嫁に



●アーリーアメリカン感覚で
八幡吉之助(株)阪神リビング代表取締役
川井 理子 日本航空勤務

川井 今日見せていただいたこの婚礼家具、ほんの少しアーリー・アメリカンの香りがしますね。

八幡 家具のルーツは本当は北欧なんです。これはアメリカっぽいでしょ。

川井 私はこんな家具が好きなんです。素材はなんですか？

八幡 これはチーク材。チークはヨ

ットの内装に使われる材木です。だから男性的、ダイナミックな感じでしょう。アメリカのホテルの内装などもチークが良く使われますね。

川井 そうなんですか。こんなしっかりした家具を置いてみたいですね。

八幡 中に入れる洋服は、どんどん増えていきます。大きな、しっかりした家具を買われた方が、結局は有効なんですよ。

●招待状をご希望の方は右記まで筆書でご請求下さい。ご請求を頂いた方には素敵なプレゼントをお送りいたします。

婚礼家具専門



阪神リビング

663 西宮市甲子園高潮町4番3号(阪神甲子園駅前) TEL (0798) 46-5801(代)

トアロードから神戸ビーフのエスプリを



nice taste

●ジャズピアノを弾くのが日課です。

奥野 和義・貴代さん夫妻

(奥野製菓工業株式会社取締役部長)

結婚して3年半、1才10か月になる美歌ちゃんとお互いにお住まいです。「仲良く暮らす秘訣? お互いに相手を理解しようと努力することが大事なんじゃないでしょうか」。奥さまはフランス料理やシチュウがお上手、奥野さんの趣味はジャズピアノで腕前の方もかなり。笑顔と音楽が絶えないご家庭です。

ステーキハウス
鉄板和紙焼[®]

かんが亭[®]

神戸市中央区下山手通2丁目5-5(トアロード) TEL.078 (331) 7168

営業時間/平日AM11:30~PM2、PM5~9 日曜・祝日AM12~PM4、PM5~9 無休

神戸百店会

*宝飾品 Jewel・Pearls

- ①宝飾 ミキモト Mikimoto Pearls
②宝飾 田崎真珠店 Tasaki Pearls
③宝飾 タジマ Jewel Tajima
④時計と宝石 美田時計店 Mita Watch Shop
⑤宝飾 神戸ダイヤモンド Kobe Diamond

*紳士洋服・洋品 Tailor & Men's Shop

- ⑦紳士服 柴田音吉洋服店 Tailor Sibata
⑧紳士服 三恵洋服店 Tailor Mituei
⑩男子洋品 フナキヤ Funakiya
⑪紳士服 十字屋洋服店 Tailor Jujiya
⑫洋品雑貨 サノヘ Sanohe
⑬ワイシャツ 神戸シャツツ Kobeshirt
⑭紳士服 洋服の粹渡 Watanabe
⑮紳士服 ニッケショールーム Nikke Showroom
⑯紳士服飾 ウネ Men's Shop Une
⑰紳士シャツ 大和屋シャツ Yamatoya Shirt
⑱メンズウェア マーキュリー MERCURY
⑳紳士服飾 西川

*婦人洋装・洋品 Ladie's Shop

- ⑲帽子 マキシム Maxim
⑳服飾雑貨 エスターニュートン Esther Newton
㉑ハンドバッグ シラサ Shirasa
㉒ベビー用品 ファミリア Familiar
㉓婦人服地 シンワ
㉔婦人靴 ジョアンナ

- ㉕洋装 オカダ Masuya
㉖婦人服飾 ベニヤ Beniya
㉗婦人・紳士服飾 セリザワ Serizawa
㉘毛皮 ベニー毛皮 Bennie Furrier(Furs)
㉙高級婦人服地 コマツ KOMATUYA
㉚婦人服飾 三 San-ai
㉛オートクチュール 装 Soen
㉜婦人服飾 リン Liza

*装身具・服飾品 Accessary・Dress

- ㉝ベッ甲 太田ベッ甲 Ota Co. (Tortoise-shell ware)
㉞ハンドバック イクシマヤ Ikushimaya
㉟アクセサリー 芸 Geimu
㊱婦人・紳士靴 クロス Cross Shoes
㊲婦人・紳士靴 ヨシオカ Yoshioka Shoes

*和装 Kimono・Geta

- ㊳呉服 ちんがら屋 Chingaraya
㊴呉服 みよし Miyosiya
㊵衣裳 中川衣裳店 Nakagawa
㊶衣裳 つるや衣裳店 Turuya

*美容 Beauty Shop

- ㊷美容 ブルーあきら Blue Akiara
㊸美容 美容室エリザベス Elizabeth Beauty Shop

*美術・工芸品 Art

- ㊹美術 元町画廊・若木屋 Motomachi Gallery
㊺画材・顔料 末積製額 Suezumi
㊻工芸 磯川工芸店 Isokawa
㊼美術陶磁器 淡洲 Tanshudo
㊽新古美術 播磨 Harishin
㊾美術品 元町美術 平山商

*家具 家庭・文化用品 Furniture・Family

- ㊿家具 永田良介商店 Nagata Ryosuke Shop
㊽玩具 カメヤ Kameya Toy Store
㊾メガネ 神戸眼鏡院 The Kode Optical Co., Ltd.
㊿カバン 大上靴店 Oue Trunk Co.
㊽ゴルフ用品 GOLF & BAG TAKAHASHI
㊾薬品 三星堂薬局 Sanseido Pharmacy
㊿メガネ 服部メガネ店 Hattori Optical Shop
㊽結婚儀式用品 遠藤福寿堂 Endo-Fukujudo
㊾和洋家具・カーテン・カーペット インテリア イリフネ 家具・インテリア メーブル FUJIYA

*菓子・喫茶 Cake・Tea-room

- ㊿和洋菓子 風月堂 Fugetsudo
㊽菓子 雁治郎飴本舗 Ganjiroame-Honpo
㊾洋菓子 ドンク Donq
㊿チョコレート モロゾフ Morozoff
㊽ドイツ菓子 ユーハイム Juchheim's
㊾洋菓子 ヒロタ Hirota Confectionery
㊿洋菓子 ユーハイムコンフェクト Futatsuchaya
㊽和菓子 本高砂屋 Hon-Takasagoya
㊾菓子・パン Belle
㊿菓子 河南堂 Kanando
㊽チョコレート コスモポリタン Cosmopolitan
㊾瓦煎餅 菊水総本店 Kikusui Sohonten
㊿菓子 UCC上島コーヒショップ
㊽チョコレート ゴンチャロフ Goncharoff
㊾パン・喫茶 カスカード Cascade

*和洋料理 Eating House

- ㊿和・日本料理 竹葉亭 Chikuyotei
㊽天婦羅 おかがわ Okagawa
㊾寿司 本成駒 Hon-Narikomaya
㊿とんかつ 武蔵 Musasi
㊽スペイン料理 カルメン Carmen
㊾欧風料理 ハナワグリル Hanawa Grill
㊿ビヤ・ホール ニュー・トーキョー New Tokyo
㊽海川魚料理 時雨茶屋 Shigure Jaya
㊾軽料理 蛸の壺 Takonotsubo
㊿レストラン 北野クラブ The Kitano Club
㊽レストラン ブランドウブラン Blanc de Blanc
㊾ふぐ・天ぷら・寿司 栄 Sakaeya
㊿寿司 又 Matahei
㊽神戸肉 大井肉店 Ooi Beef Shop
㊾クラブ・料亭 Night Club
㊿料亭 松の家 Matsu no ya
㊽ナイトクラブ 北野クラブ The Kitano Club

*ホテル Hotel

- ㊿ホテル 神戸オリエンタルホテル Oriental Hotel
㊽ホテル 六甲オリエンタルホテル Rokko Oriental Hotel
㊾観光旅館 有馬温泉(東有馬)古泉閣 Kosenkaku
㊿ホテル ニューポートホテル NEW PORT HOTEL

*商社 Trading House

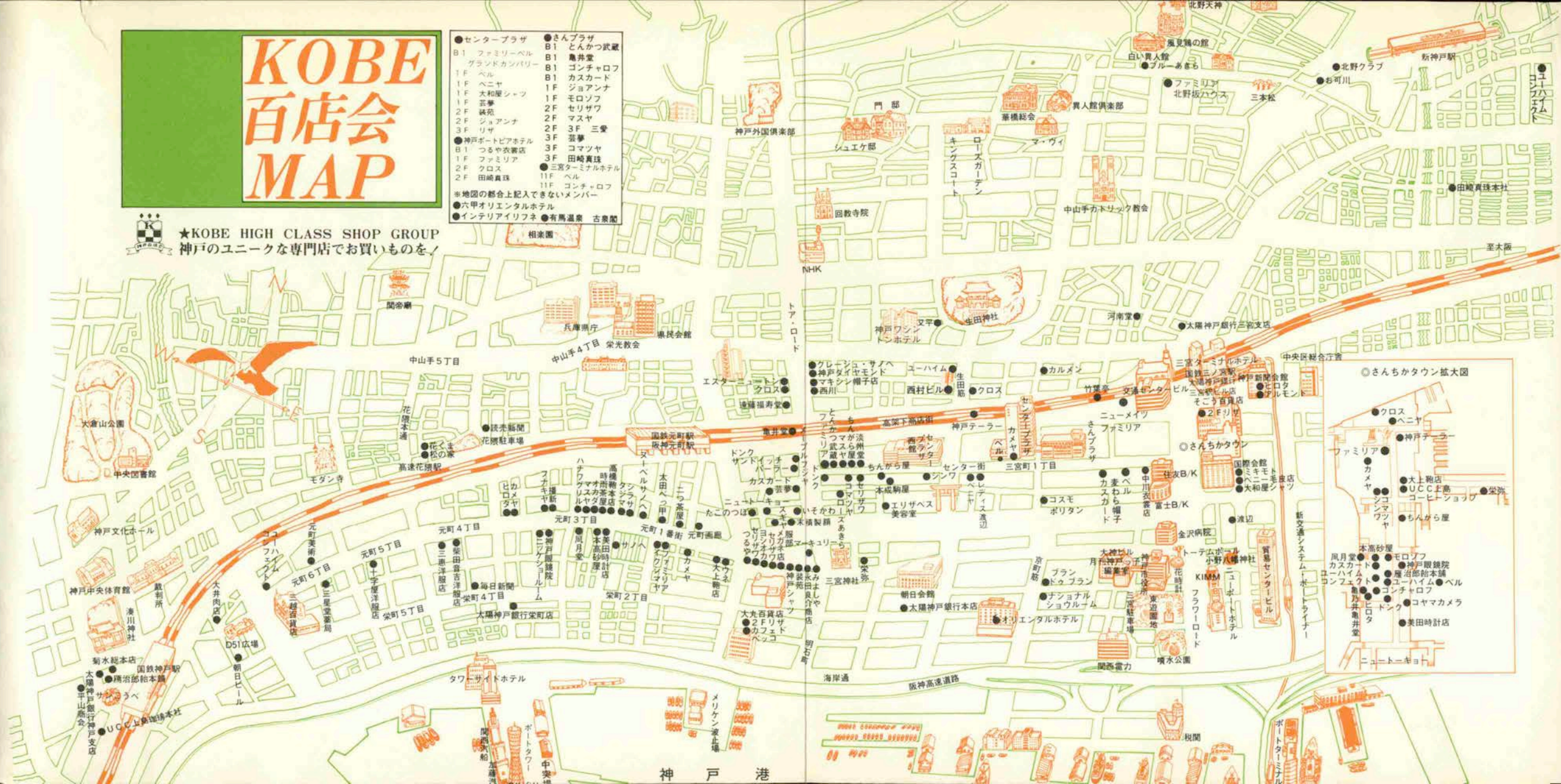
- ㊿ビール アサヒビール Asahi-Cho
㊽電化製品 ナショナルショールーム National Showroom
㊾銀行 太陽神戸銀行 THE TAIYO KOBE BANK, LTD.
㊿珈琲・紅茶 UCC上島珈琲本社 UCC Ueshima Coffee Co.

KOBE 百店会 MAP



★KOBE HIGH CLASS SHOP GROUP
神戸のユニークな専門店でお買いものを!

- | | | |
|--|--|--|
| ●センタープラザ
B1 ファミリーヘル
グランドカンパニー
1F ヘル
1F ベニヤ
1F 大和屋シェフ
1F 芸夢
2F 義苑
3F リザ | ●さんプラザ
B1 とんかつ武蔵
B1 亀井堂
B1 ゴンチャロフ
1F カスカード
1F ジョアンナ
1F モロソフ
2F セリザフ
2F マスヤ
3F 三愛
3F 芸夢
3F コマツヤ
3F 田崎真珠
●三宮ターミナルホテル
1F ファミリア
2F クロス
2F 田崎真珠 | ●三宮ターミナルホテル
11F ゴンチャロフ
●六甲オリエンタルホテル
●インテリアイリブネ
●有馬温泉 古泉閣 |
|--|--|--|
- ※地図の都合上記入できないメンバー
●相楽園



神戸港

新発売

びやくろうらん
白樓蘭

いろいろを淡いヴェールに包んだ
幻の味……

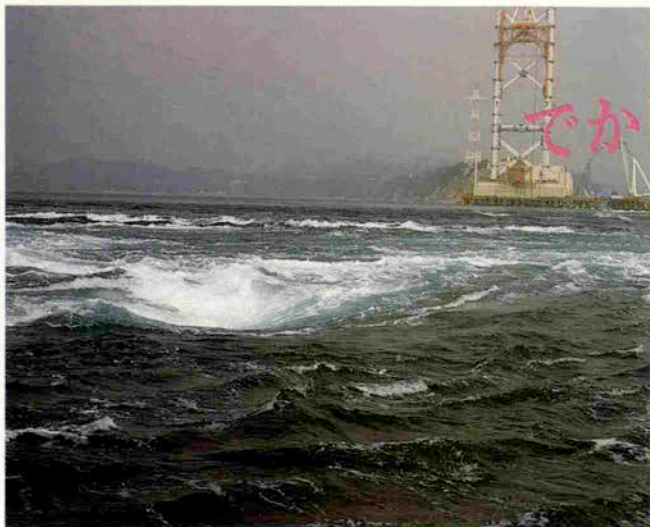


本
本

社・神戸市東灘区甲南町1丁目4-28 ☎(078)451-0321(代)
店・神戸市中央区元町通3丁目2-11 ☎(078)331-7367(代)

直営店・神戸元町本店・さんちか店・阪急三番街店 取扱店・全国有名百貨店

高砂屋
本高砂屋



でかけてみませんか
春の淡路島へ

高速艇を使ったクーポンをご利用ください。

共同汽船の高速艇と島内バス、観光地をセットしたクーポンです。淡路島をいところどりて、あなたをおつれいたします。

■鳴門のうず潮見物コース/期間:3月1日⇒11月30日

大阪港・神戸港(共同汽船)⇒洲本港⇒福良港⇒鳴門観潮(阿波汽船60分)⇒福良港⇒洲本港(共同汽船)⇒神戸港・大阪港

■島めぐりコース/期間:3月1日⇒11月30日

神戸港(共同汽船)⇒洲本港⇒福良(海上観潮、昼食、淡路人形鑑賞)⇒大見山・若人の広場⇒鳴門岬⇒うずしおライン⇒洲本港(共同汽船)⇒神戸港
※うず潮の時間によって、まわる順序が変わります。



○神戸中突堤客船のりば
(ポートタワー下)
TEL(078) 391-5658

国鉄元町駅・阪神元町駅・阪急
花蔭駅 各南へ徒歩10分

○大阪弁天埠頭洲本航路のりば
TEL (06) 575-1321

国鉄環状線・地下鉄弁天町駅より
北へ徒歩15分 バス又はタクシーで5分

淡路島へ早朝から30分ごとに出航。



共同汽船株式会社

神戸市中央区海岸通5番地 ☎ (078) 391-4942

ST. GEORGE JAPAN

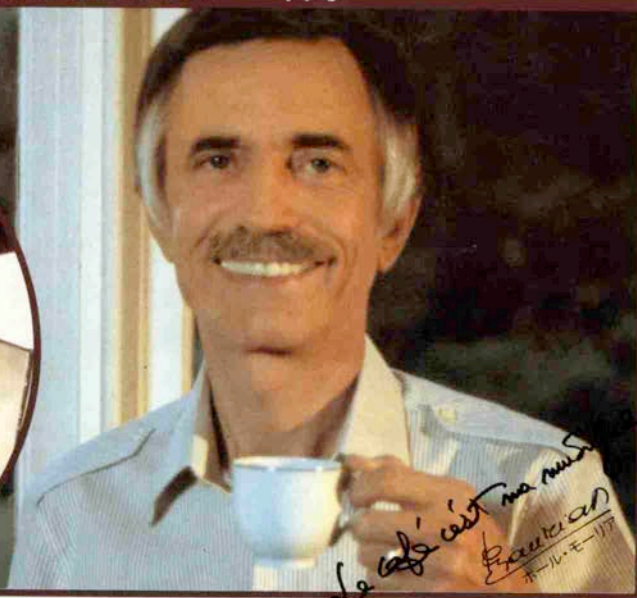
神戸市中央区北野町1丁目2-17
PHONE (078) 242-1234(代)

キョウ
セント・ジョージ
マチアワセ
デ



珈琲は音楽

イメージをしめくる、この一杯。



なにかひとつのことに心を注ぎこむ。そして、なしたげたあとは、
 たまらなく解放感にひたりたいもの。そこに、お気に入りの一杯の
 コーヒーがあれば、まさに至福のひとつが味わえる。

UCCレギュラーコーヒー。それは、珈琲豆の栽培からはじまる
 おいしい珈琲づくりへの結論。カップが唇に触れ、舌にコクのある
 味、味が広がるとき、くらは豊かな香りでつつまれます。

炒りたて、挽きたての味と香り

UCCレギュラーコーヒー



UCC オリジナルコーヒー
 (ペーパーフィルター用 200g缶)



UCC コーヒーチェリー
 (パルプ付包装 200g)

信頼のブランド



上島珈琲本社

総本社：神戸市中央区多聞通5-1
 ☎(078)361-8800代
 支 社：北海道・東北・関東・東海
 中部・北陸・近畿東・近畿西
 中国・山陰・四国・九州・沖縄
 支 店：全国主要都市165ヵ所